

**クラウドクラウドファンディング1週間で30%達成****言葉を失った実業家が「失語症」改善のために  
「エンターテインメント」に挑む!!****「失語症」×「朗読劇」×「エンタメ」****「言葉に架かる虹」****10月19日（土）公演決定!!**

脳卒中や事故などによる脳外傷の後遺症である失語症や高次脳機能障害が、当事者にとってどんな困難となって立ちふさがるのか。それは発症前の人生や、それまで培ってきたパーソナリティに大きく左右されます。

たとえば発症前に「**経営者・事業主**」だったら？

依然通りに働けないのはどんな当事者にとっても絶望ですが、そこに養うべき従業員とその家族がいて、会社としての借り入れがあったりもする。勤め人なら守ってくれる雇用保険も機能せず、使える制度も少ない。

その苦しさは、発症前の立場を色濃く反映します。

けれど半面、当事者がその苦しさから「どう立ち上がるのか」も、病前のその人を大きく反映します。

本作で助演を務める坂田敦宏は、「**障害も経営も全く同じ**」と言います。発症当時は、左半身機能全廃。半身がすべてピクリとも動かない状態で、医師からは「もう歩けることはない」と言われた彼ですが、今は起業家として復帰を果たし、20社以上を経営する立場に舞い戻りました。

そんな彼を立ち上がらせたのは、病前に実業家として常人では経験することのない「どん底」を経験してきたことだったと言います。

今回の物語には、そんな坂田からのメッセージとマインドを、色濃く反映しました。

失語症や高次脳機能障害は、事故や原疾患からの救命率が上がるほど、当事者が増え続けています。特に脳血管疾患由来のケースは、40代や50代といった、それまでの職業人生がようやく実を結び始める時期に発症するケースも増えています。

本作を、**今一線で戦う経営者や事業家の方々にも届けたい**。それは、決して他人事ではありません。そして坂田という経営者が、なぜ障害も経営も同じと言うのか、その言葉裏にあるマインドを、確かめてほしく思います。

**坂田 敦宏**当事者インフルエンサー  
発症後 実業家に復帰**イベント情報****【日時】** 2024年10月19日（土）13:30～16:00（12時45分開場）**【会場】** きゅりあん（品川区立総合区民会館）小ホール**【内容】** 第一部：朗読劇「言葉に架かる虹」第二部：トークショー「失語症者にとって朗読の効果とは」  
（医師・長谷川幹氏×文筆家・鈴木大介氏）**【チケット代】** 3,000円（舞台鑑賞） / 2,500円（アーカイブ配信）**【クラウドファンディング】** <https://x.gd/gA0oq>**【お問合せ先】** 一般社団法人ことばアートの会

Phone (03)6824-5450 担当者：桑川（くめかわ）携帯 (090)2457-0077

<https://kotoba-art.com/>

# 昨年の第1回公演ではチケットが完売になった伝説の朗読劇！ 原作、脚本、演者全員まで障害当事者が担う 「失語症朗読劇」が更なるパワーアップ！

演劇集団

キャラメルボックス所属



大森 美紀子

演劇集団  
キャラメルボックス所属



西川浩幸



柳 浩太郎

ミュージカル『テニスの王子様』  
主人公・越前リョーマ役(初代)



鳳 真由

元宝塚歌劇団男役

キャラメルボックス主演級俳優

2.5次元ミュージカルの主演俳優

当事者インフルエンサーにして起業家

輝かしい実績を持ちながら障害当事者となった演者たちが

元宝塚歌劇団男役&当事者家族(女優)をゲストに繰り広げるエンタメに期待！

石原が目指すのは、いかにも障害当事者が演じている「福祉劇」ではなく、先入観なしで観客を楽しませ満足させる、真のエンタテインメント。それを障害を抱える当事者自身が実現することで、この「見えない障害」をより多くの人々に知ってもらえるのではないかと考えます。

わたしたちの誰もが、一度は人生の暗闇に落ち込んだ、重い過去を抱えます。けれど、障害を負った後も人生は続きます。わたしたちがその後もなんとか生き延びてこられたのは、暗闇の中に、小さな小さな光を見出すことができたからです。

石原は、メディアが前面に押し出すことの多い、障害を乗り越えキラキラ輝く強い当事者像を描くこと、つまり、回復ストーリーを、決して望みません。人生の途上で得る障害という、残酷な闇。その中で、人はどんな光を見出すのか。そのリアルを演じ、語り、人に伝えることができるのは、わたしたち当事者なのだと信じています。

## メディア掲載情報

【テレビ】NHK「おはよう日本」・ケーブルTVしながわ「三之助のとおきおきの品川」

【ラジオ】TBSラジオ「人権TODAY」

【新聞】朝日新聞・読売新聞・東京新聞・神戸新聞・茨城新聞・静岡新聞・福井新聞・埼玉新聞  
熊本日日新聞・高知新聞・河北新報・長野日報・日本海新聞・信濃毎日新聞・長崎新聞  
東奥日報・徳島新聞・沖縄タイムス(21社)

2024年9月現在

CAMPFIRE for Social Goodで  
クラウドファンディング挑戦中

支援期間

8月24日～10月31日まで

「ことばアートの会」



一般社団法人ことばアートの会 代表 石原由理

東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。演劇の戯曲翻訳家として、文学座、東宝、梅田芸術劇場など多くの作品に携わってきたが、2013年に脳梗塞を発症し、失語症を発症。自らがリハビリ課題として効果を実感した「朗読」を同じ失語症者のために広めたいとの思いから、2021年12月より「失語症者のための楽しい朗読教室」を始める。2023年3月に(一社)ことばアートの会設立

